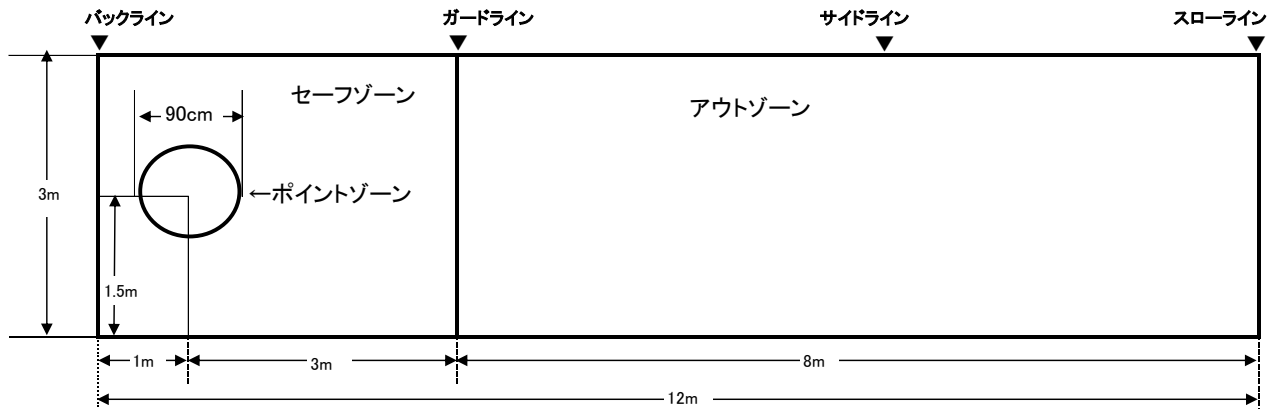


報道関係各位	発信年月日	令和6年3月15日	送付枚数 (本紙含む)	4枚
担当部課名	担当課長名	担当者職氏名	連絡先電話番号	
協創部市民活動推進課	河上 雄治	主事 末岡 直樹	(0836) 82-1134	
件名	「山陽小野田市ふるさとカローリング大会」を開催します			
内 容				
<p>カローリングは、子どもから高齢者まで年齢・性別・体力に関係なく誰でも参加できます。今大会ではスポーツを通して、校区と世代を超えた交流を促進します。</p> <p>1 日時：3月20日（水・祝） 8：30～13：00</p> <p>2 場所：山陽小野田市民体育館</p> <p>3 内容：各校区から最大4チーム、各中学校から最大3チームが出場。 （1チーム3人） 総勢50チーム（約150名）の参加により行います。</p> <p>開会式 9：00～ 試合開始 9：30～</p> <p>4 主催：山陽小野田市ふるさとづくり協議会</p> <p>5 問い合わせ先：山陽小野田市ふるさとづくり協議会事務局 市民活動推進課内</p>				

第17回 山陽小野田市ふるさとカローリング大会開催要項

1. 目的 スポーツを通して、校区と世代を超えた交流を促進する。
2. 日時 令和6年3月20日（水・祝） 8時30分 受付開始
9時00分 開会式
9時30分 試合開始
3. 会場 山陽小野田市民体育館
4. 主催 山陽小野田市ふるさとづくり協議会
5. 参加チーム 各地区最大4チーム及び市内各中学校3チーム
6. 試合方法 リーグ戦で行う。1試合5イニング。
※1 試合前にルール等の説明を十分に行い、初心者でもできるということを認識してもらう。
※2 各チームとも、最初の試合開始前に練習時間を3分間とる。
※3 各コートに審判を配置するので、指示に従うこと。
7. 大会ルール 別紙のとおり
8. その他 体育館専用シューズを必ず持参してください。
※参加賞があり、上位に入賞すると賞品があります。
※1位には、トロフィーを1人1個ずつ渡します。
※入賞チーム以外にも、賞品があたる可能性があります。

山陽小野田市ふるさとカローリング大会 競技ルール



カローリングは、氷上のスポーツカーリングをヒントに室内で気軽に楽しめるスポーツとして1993年に名古屋で誕生しました。

3世代でできる新しいスポーツで、体育館やオフィスなどの屋内フロアで、よりスリリングに楽しむ事ができるように開発した「ジェットローラー」を、フロアの先端に設けたポイントゾーンを目標に走行させ、相手チームと交互に投球し、ぶつけ合いをして得点を競います。現在では海外にも普及しつつあります。

1. 競技方法

- 1試合は5イニング制とします。所要時間約15～20分間。
- 競技は、1人1個のジェットローラーを投球順序に従い、ポイントゾーンに向けて相手チームと1個ずつ交互に投球し、両チームのジェットローラー6個を全部投球して1イニングを終了して得点を計算します。
- 5イニング終了時に同点の場合、1イニング延長します。

2. 先攻の決め方

- 先攻、後攻は、両チームの代表者がトスで決めます。各イニングにおいて、勝ちチームは、次のイニングで先攻になります。両チームのジェットローラーがポイントゾーン上にならない場合は引分けとなり、次のイニングに進みますが、先攻、後攻の順序は前のイニングと同じです。

3. プレイヤーの投球順序

- 各プレイヤーの投球順序は、1試合の競技がすべて終了するまで途中で変更することはできません。

4. 得点計算

- 標的にジェットローラーが接触している場合、中心に最も近いローラーのチームが勝利になります。
- 負けチームは0点で、勝ちチームは負けチームのローラーより中心に近いローラーの数に応じて得点が与えられ、接触する標的の色が赤だと3点、黄が2点、青が1点として計算しますが、ジェットローラーの外周が各色の間の白線上にある場合は点数の低い方にとって計算します。

5. コートライン上の停止と走行時の判定

- 投球したジェットローラーが、セーフゾーン以外で停止した場合とすべてのライン上に停止、又は接触している場合は、すべてアウトとなり味方チームにより除去します。
- セーフゾーン内に停止したジェットローラーは、そのイニングが終了するまで触れることはできません
- ジェットローラーのポイントゾーン上及びコートライン上の位置確認や合否の判定及び得点計算は、両チームの副主将が協議して決定します。
- 投球したジェットローラーが、サイドラインを越えて隣接コートに入った場合は、アウトになり味方チームにより除去されます。

6. 投球時の注意

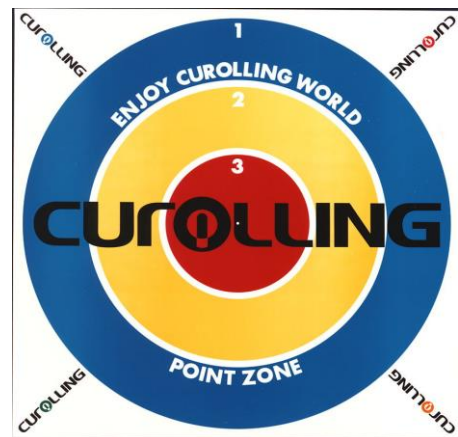
- 前の投球者が投げたローラーが停止してから、次の投球を始めてください。
- プレイヤーが投球姿勢に入った時、スローラインで待機する他のプレイヤーは声を出したり、体を動かしたりしてプレイヤーの投球を妨害する行為をしてはならない。
- スローラインで待機するプレイヤーは、ジェットローラーの位置を確認するために、ポイントゾーンの周辺に近づくことはできません。

7. 投球時の反則

- 中腰姿勢や立ったり、走りながらの投球はすべてアウトです。足がスローラインを越えるとアウト。オンラインはセーフです。
- 投球時にスローラインを越えて前方に手をつけて投球した場合、そのジェットローラーは、アウトになります。投球後にスローラインを越えて床面に手をついた場合はセーフです。
- ジェットローラーの投球方向は、ポイントゾーン方向に投球し、反対向きで投球されたジェットローラーはアウトになります。
- 投球時に身体、手や足又はジェットローラーがサイドラインを越えて投球されたジェットローラーは、アウトになります。
- プレイヤーが投球順序を間違えて、味方、又は相手チームより先に投球した場合、そのプレイヤーの投球したジェットローラーはアウトになります。
- プレイヤーが相手チームのジェットローラーを投球した場合、ただちに中断し、違反したチームのジェットローラーはすべてアウトになり除去されます。このイニングは、一方のチームのファーストプレイヤーが最初から単独投球で競技を進行します。
- 投球時の反則によるジェットローラーの起因により、セーフゾーン及びポイントゾーンにあるジェットローラーが移動した場合は、元の位置に戻します。
- プレイヤーが味方チームのプレイヤーの使用するジェットローラーを間違えて投球した場合、投球されたプレイヤーのジェットローラーもアウトになります。



投球フォーム



ポイントゾーン



ジェットローラー



ジェットローラー(裏)